


事業番号	10 02 04	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S39 ~	E-mail	ringvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進      3-8 生活を支える地域交通の確保				

### 1 現状と課題

目指す姿	県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。 (里山の集約化、高性能林業機械の導入及び路網の整備により低コスト化・効率化を図り、素材生産目標(R4)80万㎡を目指す)	
これまでの取組	里山の集約化、高性能林業機械の導入、オペレータ養成、県営林道の開設、補助林道整備、森林作業道整備等	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の小規模個人所有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている。</li> <li>・作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっているが、コロナ禍による資材不足等により、機械の納期長期化や価格高騰が見られる。</li> <li>・主伐、再造林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備等を実施するための施業同意の取得に取り組む主体を支援し、里山の森林整備の集約化を促進。</li> <li>・事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図るとともに、短期間のレンタル経費を補助し、県産材の増産体制を強化。</li> <li>・林内作業道だけでなく、充実した森林資源の有効活用を図るため、基盤となる林内路網の整備を促進。</li> </ul>

### 2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<p>○高性能林業機械等のレンタル支援</p> <p>・コロナ禍による資材不足やウッドショックを背景とした県産材の需要増加に対応するため、高性能林業機械等の短期間レンタル経費の一部を補助し、県産材の増産体制を強化。</p>	 <p>高性能林業機械</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】</p> <p>森林を管理するための社会基盤である森林路網について、GISやGNSSを活用し、精度の高いデジタル情報として整備、森林・林業関係者が互いに情報を共有できる仕組みを構築する。</p> <p>【ゼロカーボン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能林業機械を導入し木材生産を効率的に進めることで、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。</li> <li>・木材の搬出や森林の整備に必要な林内路網を整備することにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。</li> </ul>	

指標の状況及び目標値 [△:改善、\:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									区分(単位:千円)			
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	里山の集約化	ha	263	333	△	450	△	450	前年度繰越	734,500	717,179	
2	林内路網密度	m/ha	21.1	21.4	→	21.4	→	21.6	当初予算	976,472	985,874	938,160
3									補正予算	49,409	127,899	10,000
4									合計(A)	1,760,381	1,830,952	948,160
5									うち一般財源	41,629	63,755	54,741
									決算額(B)	1,038,883		
									職員数(人)	34.5	34.5	34.5
設定理由	成果指標	1.効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を指標に設定 2.林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため指標に設定										
	目標値	1.基本方針を基に設定 2.森林づくり指針を基に設定										

事業番号	10 02 04	事業改善シート (令和4年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課		

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	林業基盤整備事業	72,228 千円	87,729 千円	当初 124,229 補正 10,000 千円
DX	該当なし			
ゼロカーボン	高性能林業機械の導入及びレンタル支援により木材生産を効率的に進め、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与。			
共生社会づくり	該当なし			
学びの県づくり	該当なし			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	・林業事業者が行う高性能林業機械の導入(リースを含む)への補助 【高性能林業機械補助予定台数:15台予定】 ・林業事業者を対象とした高性能林業機械のオペレーター養成研修の開催への補助	
2	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援 【集約化予定面積:450ha、交付金予定額:6,750千円】	
3	高性能林業機械等レンタル支援事業	補助金	・林業事業者が県産材の増産体制を強化するための高性能林業機械等のレンタル経費の補助 【林業事業者20社、補助額10,000千円を予定】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	林道整備事業	904,244 千円	898,145 千円	当初 813,931 補正 千円
DX	森林を管理するための社会基盤である森林路網について、GISやGNSSを活用し、精度の高いデジタル情報として整備、森林・林業関係者が互いに情報を共有できる仕組みを構築。			
ゼロカーボン	木材の搬出や森林の整備に必要な林内路網を整備し、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与。			
共生社会づくり	該当なし			
学びの県づくり	該当なし			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る 【1路線、約17kmの維持管理】	
2	森林路網DX推進事業	直接委託	・森林路網(林道)のデジタル情報収集調査 【委託予定額:14,666千円】 ・森林路網のデジタル情報管理体制の構築【管理経費予定額:5,334千円】	
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助 【補助対象路線:11路線、補助予定額:16,760千円】	
4	公共林道事業	直接補助金	・県営事業による林道の開設【開設予定数:5箇所】 ・市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 【実施予定:開設4箇所、改良30箇所、舗装2箇所、他30箇所、計66箇所】	
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に係る助成 【特定林道(南アルプス線、奈川安曇線)2路線】	